

第1日目 10月20日(土)

時間		
9:30~12:00	評議員会	401演習室
12:00~	大会受付	全学教育棟1Fロビー
13:00~13:15	開会のあいさつ	12番教室
13:15~16:15	第65回大会記念シンポジウム	12番教室
	<p>「高山性生物の成り立ちと現状」 コーディネーター 伊藤建夫氏(信州大学名誉教授)</p> <p>基調講演 原山 智氏(信州大学名誉教授)「北アルプスの生成と地形発達史」</p> <p>事例講演 堀田昌伸氏(長野県環境保全研究所専門研究員)「ライチョウを取り巻く現状と未来」 藤井紀行氏(熊本大学大学院准教授)「日本産高山植物を用いた分子系統地理学的研究 ー本州中部山岳の系統地理学的重要性についてー」 東城幸治氏(信州大学学術研究院教授)「高山の水生生物の系統進化」 宇佐美真一氏(信州大学教授)「高山蝶タカネヒカゲの分子系統とルーツ」</p>	
16:15~16:40	写真撮影・休憩	
16:40~17:40	一般講演(A会場 46番教室)	一般講演(B会場 401演習室)
	A-1小田康弘(関東・埼玉昆虫談話会)松村松年博士採集の <i>Pieris nesis</i> について	B-1田下昌志・福本匡志・宮崎揚子(信越)青木村信州昆虫資料館周辺の蛾類について
	A-2津吹卓(関東)野外におけるツマグロヒョウモンの雌雄の行動の違い	B-2宮崎揚子(信越)フチグロトゲエダシャクの食草及び生息環境とヨコハマセニジモンアツバについて
	A-3竹内 剛(近畿・大阪府大)・村松大輔(京大・野生研)チョウに同性という認識はあるか?	B-3寺 章夫(関東)パルナシウス亜科( <i>Parnassiae</i> )の繭からの脱出器官
	A-4小田切顕一(九州・九大院・比文)・石綿深志(宮崎市)宮崎県低標高地におけるヒサマツミドリシジミのオスの行動	B-4山本毅也(関西)オオムラサキ後翅肛角紋の色彩の遺伝解析 ー桃色型劣性遺伝子は存在するー
18:15~20:00	懇親会	あずみホール

第2日目 10月21日(日)午前

時間		
9:30~11:00	一般講演(A会場 46番教室)	一般講演(B会場 401演習室)
	A-5鈴木 光(九州)蛹化姿勢によるミカドアゲハの非越冬蛹と越冬蛹の識別	B-5〇奥 尉平1・坂巻祥孝1・屋宜禎央2(1.鹿児島大学・2.九州大学)日本産 <i>Nosphistica</i> 属1新種の記載(キバガ上科ヒゲナガキバガ科)
	A-6渡邊通人(関東・NPO法人富士自然保護センター)ヒメシロチョウ生息地の火入れの有無による発消長の違い	B-6〇北島裕紀・坂巻祥孝(鹿児島大学)日本産 <i>Meleonoma</i> 属2新種の記載と日本初記録種(キバガ上科マルハキバガ科)
	A-7平井規央1・矢後勝也2・中村康弘3・水落渚4・関根雅史4・佐藤大輔1・石井 実1(1近畿・大阪府大院, 2関東・東大総研博, 3関東・日本チョウ類保全協会, 4足立区生物園)ツシマウラボシシジミの日長反応	B-7〇屋宜禎央(九州・九大院)・平野長男(信越・松本市)・広渡俊哉(九州・九大院) <i>Quercus</i> 属を寄主とする日本産 <i>Ectoedemia</i> 属(モグリチビガ科)
	A-8谷尾 崇1・伊藤勇人1・中村康弘2・永幡嘉之2・水落 渚3・関根雅史3・神宮周作4・久壽米木大五郎4・伊藤雅男5・平井規央6・佐々木公隆7・小沢英之7・王敏8・徐培峰9・佐藤直人10・遠藤秀紀1・矢後勝也1(1. 東京大・総研博, 2. 日本チョウ類保全協会, 3. 足立区生物園, 4. 対馬市役所, 5.長崎バイオパーク, 6. 大阪府大・生命, 7. 日本鱗翅学会, 8. 華南農業大学, 9.台湾師範大・生命科学, 10. 環境省)国内希少野生動物種ツシマウラボシシジミの分子系統と保全	B-8〇阪上洗多・杉浦真治(神戸大大学院・農)アブラムシ甘露に訪れる多様な蛾類群集
	A-9河邊誠一郎、高崎浩幸、松尾秀行、〇三宅誠治(中国)ウスヒロヒョウモンモドキ新見市草間保護個体群の終焉について	B-9西尾規孝(信越)トビイロトラガの生態
	A-10井上大成(関東・森林総研多摩)林試の森公園(東京都)におけるチョウ類相の変遷と近年の群集の変化	B-10長谷川大(関東)・小田切顕一(九大院・比文)福島県甲子高原から記載されたカシワアカシジミの新亜種について
11:00~12:00	ポスター・標本発表 コアタイム	402演習室
	ポスター発表	標本発表
	P-1石川光一(関東)トカラ列島のヤマトシジミについて ―国内産2亜種の分布境界線はどこか?―(続報)	SP-1北原 曜(信越)近縁種間の交配実験から推定される種分化の過程
	P-2〇松井安俊(関東)・星 光流 外来種による在来種の圧倒・席卷、そして… ―ゴマダラチョウとアカボシゴマダラ・13年の追跡から―	SP-2伊藤建夫(信越)日本列島のコキマダラセリ
	P-3高嶋彰太1・畠山吉則1・倉林智哉1・西村知良2・岩野秀俊1(1.関東・日大生物資源応用研, 2.関東・日大生物資源生物研) <i>Celastrina</i> 属2種における卵の微細形態比較	SP-3宇野 彰(関東)山梨県日野春の蝶類
	P-4〇上田昇平(近畿), 中谷貴壽(関東), 福本匡志, 丸山潔, 伊藤建夫, 宇佐美真一(信越)中部山岳に分布するアサマシジミの集団遺伝学的解析	SP-4田下昌志(信越)塩尻市高ボッチ高原の草原性種について
		SP-5四方圭一郎(信越)霧ヶ峰高原の草原性蛾類

	SP-6横山裕之(信越)長野県東御市に生息する草原性のチョウ目
	SP-7安達誠文(信越)千曲川河川敷の蛾類
	SP-8丸山 潔(信越)安曇野から姿を消したチョウ類
	SP-9豊科郷土博物館・那須野雅好・田島 尚(信越)80年前の安曇野で採集された消えゆく蛾類
	SP-10福本匡志(信越)・梶浦善太長野県でのヤママユ(天蚕)飼育におけるこれまでの研究と課題について

第2日目 10月21日(日)午後

時間		
12:00～13:00	昼食	45番教室
	自然保護委員会	401演習室
13:00～13:30	総会	46番教室
13:30～15:00	小集会(A会場 46番教室)	小集会(B会場 401演習室)
	WA-1信越地区(主として長野県)でのチョウ・ガ類の現状 世話人:小野 章(信越・LSJ自然保護委員)  1. 矢後勝也(LSJ自然保護委員長)主催者挨拶と自然保護委員会活動報告 2. 中村 寛志(信越・長野県生物多様性戦略アドバイザー・信州大学名誉教授)長野県版レッドリスト改訂と指定希少野生動植物保護回復事業から見えてきた長野県のチョウ類の現状 3. 西尾 規孝(信越)信越地区におけるアズミキタバの生息状況 4. 花岡 敏道(浅間山系ミヤマシロチョウの会)浅間山系におけミヤマシロチョウの現状～越冬巣モニタリング調査10年間のまとめ～	WB-1アルプスの嶺々を舞う高山蛾 世話人:四方圭一郎(信越・飯田市美術博物館自然分野)  1. 神保宇嗣(関東・国立科学博物館)高山蛾はなにがおもしろいのか!? 2. 四方圭一郎(信越)根性の南アルプス高山蛾調査 3. 金子岳夫(東海)高山調査の魅力と愛しの高山シャクガ 4. 枝 恵太郎(関東)キタダケヨトウはいつ採れるのか!
15:00～16:00	一般講演(A会場 46番教室)	一般講演(B会場 401演習室)
	A-11石井 実(近畿・大阪府大)「都道府県のチョウ」の選定の試み	B-11福田晴男・美ノ谷憲久(関東)フチグロホシミスジ3亜種の分布と生態
	A-12矢後勝也(関東・東大総博)東京大学総合研究博物館所蔵の注目すべきチョウ類 - 2018年特別展示「珠玉の昆虫標本」の展示標本から -	B-12○蓑原 茂(関東)・森地重博(近畿)能登半島産シルビアシジミ幼虫の越冬条件下の飼育における知見について
	A-13○吉田 周・平井 規央・上田 昇平・石井 実(大阪府立大学院・生命環境)箕浦忠愛コレクションからみる1900年代前半の京都のチョウ相	B-13○森地重博(近畿)・蓑原 茂(関東)・尾形之善(鹿児島県)アサギマダラの種子島から八丈島への移動記録
	A-14 横山裕之(信越)ミヤマモンキチョウ浅間山系亜種( <i>Colias palaeno aias</i> )の北限報告	
16:15～	閉会あいさつ	46番教室
16:30	終了	